

## 平成 28 年度社会福祉法人しののい福社会事業報告

この法人は、施設利用者及び相談支援事業利用者の意向を尊重して、利用者個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的とする。

### 1 実施事業

- (1)障害福祉サービス多機能型事業所 ポーチ有旅の丘 の経営
- (2)指定特定相談支援事業所 ポーチ有旅の丘 の経営

### 2 監事監査の実施（平成 28 年 5 月 13 日）

### 3 理事会・評議員会の開催

#### (1)第 1 回理事会・評議員会の開催（平成 28 年 5 月 22 日）

- ・平成 28 年度事業報告の審議
- ・平成 28 年度決算報告の審議及び監査報告の承認
- ・理事及び監事並びに評議員の選任
- ・苦情解決第三者委員の承認

#### (2)第 2 回理事会（平成 28 年 6 月 18 日）

- ・理事長の選任

#### (3)第 3 回理事会・第 2 回評議員会の開催（平成 28 年 11 月 20 日）

- ・平成 28 年度中間事業報告の審議
- ・平成 28 年度中間予算執行状況の審議

#### (4)第 4 回理事会・第 3 回評議員会の開催（平成 29 年 1 月 22 日）

- ・定款変更の審議
- ・評議員選任・解任委員会運営細則の審議

#### (5)第 5 回理事会・第 4 回評議員会の開催（平成 29 年 3 月 26 日）

- ・平成 28 年度事業計画の審議
- ・平成 28 年度当初予算及び補正予算の審議
- ・経理規程一部改正の審議
- ・理事・評議員選任の審議
- ・評議員選任・解任委員選任の審議

4 職員体制(平成 29 年 3 月 31 日現在)

施設長(兼管理者)1、事務長 1、サービス管理責任者 1、相談支援専門員 1、生活支援員 4、職業指導員 3、調理員 2、看護師 1

14 名(内正規職員 7 名)

5 主な事業(平成 29 年 3 月 31 日現在)

I 障害福祉サービス多機能型事業

1 利用者の状況

(1) 利用者数(定員と現員)

定員 40 名 現員 40 名

(2) 入退所者

- ① 入所者 3 名(男性 1、女性 2)
- ② 退所者 1 名(女性)

(3) 支援が困難な利用者の状況

長期欠席者 2 名(心身の不調で自宅療養)  
その他 2 名(週1~2日の通所)

(4) 療育手帳・障害区分別利用者数

手帳の種別	A1	A2	B1	B2	その他	計
人数	16	3	17	2	2	40

(5) 年代別及び地域別利用者数

年齢区分	20~24	25~29	30~39	40~49	50~	計
男	8	3	7	5	1	24
女	5	1	4	3	3	16
計	13	4	11	8	4	40

長野市北部 2 名 長野市南部 31 名  
千曲市 6 名 坂城町 1 名 (平均年齢 34.5 歳)

2 実施事業の状況

生活介護事業及び就労継続支援B型事業の2事業を実施しました。

(1) 生活介護事業(定員12名 現員10名)

自立した日常生活と社会生活への参加を促進するため、利用者個々の状況に応じた生活支援や生産活動・創作活動等を実施しました。(果実梱包ネット作業、製菓

納品、対面販売、絵画、音楽、エンジョイデー等)

また、看護師を中心に利用者の健康状態をチェックするとともに、健康保持のために必要な支援を行いました。(バイタルチェック、健康相談、散歩、ラジオ体操等)

## (2) 就労継続支援 B 型事業 (定員28名 現員30名)

働く意欲の高い利用者に就労の機会を提供するとともに、実習の場をとおして作業意欲の向上や社会性を身につけ、また、一般就労に必要な知識及び能力向上のための訓練を適切かつ効果的に実施するなかで、社会的・経済的自立を目指すこととし、利用者の希望や適性等を考慮して、4班に分かれて事業を実施しました。

また、地域でより豊かな生活ができるよう、必要な知恵やマナーを習得するための支援を行うほか、メリハリのある日課を構築するために、余暇活動、季節の行事(花見、一泊旅行等)やエンジョイデーを実施するとともに、軽スポーツやストレッチを行い健康と体力の維持を図りました。

### ア 販売営業班(現員 10名)

自主販売や受託事業等の機会をとおして、一般就労に必要な知識及び能力を身につける訓練を実施しました。また、ハローワーク等関係機関と連携し就職活動を行いました。

施設外就労(一般企業へ出向いての作業)、受託事業(官公庁等での清掃作業等)、自主製品の販売及び委託販売先の確保(24 か所)、さらに商標契約(松代焼六文銭)を行い、新たな付加価値を高めることに努め、事業収入及び工賃の確保を図りました。

### イ 陶芸班(現員 5名)

松代焼の自主生産活動をとおして、利用者の作業意欲の向上や社会生活に必要な知恵やマナーの習得を図りながら、社会的経済的自立を目指しました。

販売促進のため、商品の質の向上と新商品の開発(六文銭・白い器)に努め、事業収入及び工賃の確保を図りました。

### ウ 製菓班(現員 5名)

菓子類の自主生産活動をとおして、利用者の作業技能の向上や責任感を高めるとともに、皆で協力する心、作業意欲の向上や自信、マナーの習得などを目標として、社会的経済的自立を目指しました。

新商品の開発に取り組むとともに、販売班との協力により販路拡大に努め、事業収入及び工賃の確保を図りました。

### エ アート班(現員 10名)

自己確立の一環として、利用者個々の趣味や特技を生かした、籐細工やクリップなどの手工芸品の製作・販売、松代焼の皿づくり、絵画や音楽活動等の支援を実施しました。

これらの活動のなかで、衣食住(着替え、食器片付け、清掃等)に必要な基本的習慣を身につける生活技能、社会生活上必要なマナーや知識(金銭・時間の管

理、交通マナー等)を身につける社会活動技能、各種自主製品の販売や清掃作業、農作業など就労につながる就労技能等を習得するための支援を実施しました。

### 3 授産活動(就労支援事業)の状況

利用者の希望や適性等を配慮して6種類(販売営業、陶芸、製菓、手工芸品、下請、農作業)の授産活動を行いました。

前年度と比べ、事業収入は41万9千円余(93.2%)減少しましたが、工賃支払額は前年実績を少しばかり上回りました。

事業収入では、陶芸の販売において買取業者からの注文が27年度には約25万円ありましたが、28年度は取引がありませんでした。また製菓では担当職員が約2ヵ月間欠員になるなど生産体制が整わなかったことが事業収入減の要因と考えられますが、工賃については原材料費が低く抑えられたことなどにより、昨年並みとなりました。

単位:円

事業名	作業内容	利用者数	職員	事業収入	
就労支援B型	販売営業班	製品販売、受託作業	10名	鹿野ほか	1,937,272
	陶芸班	松代焼の製造、販売	5名	森岡ほか	1,905,559
	製菓班	菓子類の製造、販売	5名	山口ほか	1,108,091
	アート班	手工芸品・籐細工の製作・販売、陶芸等	10名	窪田ほか	425,928
生活介護	下請(果実ネット梱包)農作業等	10名	飯島ほか	422,502	

\* 内部取引(348,420円)を含む。

計 5,799,352円  
(内工賃 3,605,700円)

### 4 地域福祉サービス体制の状況

- (1) 家族及び地域住民との連携を深めるため、日頃の活動状況等を周知する広報紙(とんぼ通信、ポーチだより)を配付するとともに、施設祭(ポーチとんぼまつり)を開催しました。また、保護者会のレクリエーション等にも積極的に参加しました。
- (2) 施設利用希望者への情報提供と、現場実習や体験実習を受け入れるため養護学校等と連携するとともに、当事業所の活動内容を多くの方にPRするため、地域の販売会や各種イベントに積極的に参加しました。

## 5 主な行事

月	日	行 事	日	参観・現場実習等
4	4・5・13 9 16	4 辞令交付・利用者会 月レク(お花見) 9 エンジョイデー (春野菜・パンケーキ) 16 エンジョイデー(茶臼山動物園)		
5	10 21 13・19・26 28	10 避難訓練 21 エンジョイデー(プラネタリウム) 月レク(バッティングセンター) 28 エンジョイデー (カラオケバンバン)		就職説明会 (メルパルク長野)
6	13 3・21・22	13 苦情解決第三者委員会 月レク(ボーリング)	6～8 5.30～ 6.19	体験実習(稲養:安川) 作品展 (於上田道と川の駅)
7	4 7 7～8 17 30	4 エンジョイデー(冷やし中華) 7 七夕 7～8 一泊旅行(草津温泉) 17 エンジョイデー(祇園祭) 30 夏野菜カレー		
8	20 22 27	20 エンジョイデー(ふるさと漫画館) 22 月レク(バーベキュー) 27 エンジョイデー(冷やしうどん)	12・17・24・31 12 17～19 8.29～ 9.18	体験実習(在宅:西澤) サマチャレ(丸田) サマチャレ(藤原) 作品展 (於上田道と川の駅)
9	2 10 15 23	2 月レク(スポーツレク: 篠ノ井体育館) 10 エンジョイデー(パスタ) 15 総合防災訓練 23 健康診断	17～18	長野県障がい者文化芸術祭作品展(3名出展)
10	1 15 29	1 エンジョイデー(コロニー祭) 15 ポーチとんぼまつり 29 エンジョイデー (ハーモニー夢まつり)	10.29～ 11.27	創造の王国展 9名出展(辰野美術館)

月	日	行 事	日	参観・現場実習等
11	4 12 26	月レク(やきいも会) エンジョイデー(きのこ鍋) エンジョイデー(かつぱ寿司)		
12	10 16 17 28	エンジョイデー(もちつき) 月レク(クリスマス会) エンジョイデー(お好み焼) 仕事納め・だるま目入れ	3・14	見学(在宅:中村)
1	5 14 21 28	月レク(新年会) エンジョイデー(善光寺) エンジョイデー(キムチ鍋) エンジョイデー(ラウンドワン)	1.30~2.24	体験実習(他施設:北村)
2	2 3 10 20~21	月レク(節分豆まき) 健康診断(嘱託医) 避難訓練 ナイスハートバザールin長野		
3	3・17・24 11	月レク(カラオケ) エンジョイデー(焼きうどん)	10・21 3.6~4.4	体験実習(在宅:中村) 体験実習(他施設グループ ホーム利用者:服部)

## 6 経営・人事管理

### (1) 基本方針

障害福祉サービス多機能型事業所として、利用者が安全で安心して生活できる施設運営を行うとともに、利用者の自立と社会経済活動への参加を促進するため、作業等をとおして「生活する力」を身につけ、地域社会で豊かな生活を営むことができるよう、将来を見据えた個別の支援計画に基づいた支援を実施してきました。

### (2) 決算について

施設収入については、利用者数の増加により、予算額を上回る額を確保することができました。

また、効率的な予算執行に努めた結果、送迎車両を1台購入した上で、230万円程資金収支でプラスとなりました。

就労支援事業収入は、販売営業班が新たな受託作業に取り組むとともに、松代焼の新商品の開発と質の向上、製菓における新商品の開発や賞味期限の長期化、ま

た、対面販売の強化など図りましたが収入が減少しました。

引き続き、顧客のニーズに合わせた商品開発に努めるとともに、商品の質の向上、固定客の確保に努めていく必要があります。

### (3) 人材の育成

各種機関が実施する研修会・講習会への参加や、施設内の職員会議、支援員会議等をとおして、職員の資質の向上を図りました。また、利用者サービスを迅速・適格に実施するため、職員間の情報の共有化に努めました。

### (4) 社会参加

長野県障がい者福祉センター(サンアップル)で開催された、長野県障がい者文化芸術祭作品展の「絵画の部」に3名が出展しました。

## 7 管理業務

### (1) 健康管理及び衛生管理

嘱託医等による定期健康診断のほか看護師による健康相談を実施し、疾病等の早期発見・治療に努めました。併せて、利用者が普段どおりの生活ができる支援に努めるとともに、ラジオ体操を実施しました。

また、手洗い・うがいを励行し、感染予防に努めるとともに、食品製造においては、法令に定められた衛生管理の実施と器具類の安全管理に努めました。

給食は、利用者の嗜好調査に基づき調理し、食品衛生の徹底に努めました。

人権侵害につながる虐待等の発生を防止するため、人権擁護の職員研修を行うとともに、利用者間のトラブル防止のための生活指導に努めました。

### (2) 防災対策

火災や自然災害を想定した総合消防訓練及び避難訓練を実施するとともに、消防設備等の点検を実施しました。

総合消防訓練では、避難訓練に加え火災消火器による消火訓練と疑似煙幕体験を行いました。

### (3) 苦情解決

利用者サービスの向上・充実を図るため、利用者、保護者等からの意見・要望・苦情については、苦情解決の「第三者委員会」を開催するとともに、内部検査を実施し、利用者の立場からの業務の見直し、改善に努めました。

### (4) 個人情報の保護

個人情報については、定款細則及び運用規程により、目的に沿った情報収集、利用、提供等利用者の同意に沿った適切、厳正な運用を行いました。

## Ⅱ 指定特定相談支援事業

障害福祉サービス等の利用を必要とする場合に、総合的な援助方針や解決すべき課題を踏まえ、最も適切なサービスの組み合わせ等について検討し、サービス等利用計画を作成します。

困っていること、悩んでいること、知りたいこと等のご相談や、来所、電話、訪問での相談も行っています。また、一定期間ごとにモニタリング(計画の見直し)をし、必要に応じて計画の変更も行います。

### 1 事業の実施状況

ポーチ有旅の丘利用者のサービス等利用計画の作成及びモニタリング(サービス等利用計画等の実施状況の把握)を実施しました。

サービス等利用計画の作成に当たっては、利用者本人、ご家族からのご相談をお聴きした上で、市のケースワーカーや関係機関、相談支援専門員が連携を図るなかで、より自立した日常生活や社会生活を送ることができるよう、助言や情報提供等を行いました。

計画相談支援給付費収入額は95万4千円余で、前年比116%の増加となりました。

### 2 職員研修

相談支援専門員は外部研修に積極的に参加してスキルアップを図るとともに、事業所内研修を実施しながら、職員の資質の向上に努めました。

### 3 相談支援実施状況

(単位:人)

実施月	サービス等利用計画	モニタリング
4	2	3
5	5	1
6	2	1
7	2	3
8	3	0
9	3	2
10	2	4
11	1	5
12	1	3
1	3	1
2	0	3
3	2	4
計	26	30